

児童館「ゴールデンウイークイベント」



4月29日から5月5日、児童館ワンダーランドで「ゴールデンウイークイベント」が開催されました！絵の具を使ってカラフルなこいのぼりを作る「こいのぼりづくり」、ダンボールを自由に使って工作をする「ダンボールタウン」、自分で作ったかぶとと刀を使って戦う「こどもの日！チャンバラ合戦」など、さまざまなイベントが行われ、児童館を訪れた子どもたちは、楽しくゴールデンウイークを過ごしていました。

男女共同参画コラム①

カラフル

“あなたらしい”を築く、“あなたらしい”社会へ

問合せ：市民参加推進課

☎982・9685

FAX 981・5392

「アンコンシャス・バイアス」と「性別役割分担意識」

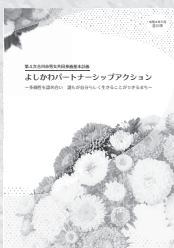
「アンコンシャス・バイアス」とは、誰もが潜在的に持っている無意識の思い込みのことをいいます。そして、「男は仕事・女は家庭」「男性は主要な業務・女性は補佐的業務」などのように、性別を理由として役割を固定的に分ける考え方を「固定的な性別役割分担意識」といいます。

近年、夫婦共働きの割合が増え、男性が家事や育児に参加する割合も増えていきます。しかし、内閣府が令和3年8月に行った調査※によれば、「男性は仕事をして家計を支えるべき」を肯定する割合が、50歳から60歳男性では63.5パーセントであるなど、家庭や地域、職場において性別に関する役割などをめぐるアンコンシャス・バイアスについて、76.3パーセントが「ある」と回答しています。

アンコンシャス・バイアスは、それ自体が悪いわけではありません。例えば、転勤＝男性と思いがかること自体は問題ありませんが、「女性が転勤？夫や子どもがかわいそう」といった思い込みによる言動や行動によって、相手を傷つけたり、自身や相手のキャリアや成長の妨げになってしまうことが問題とされています。

一人ひとりがアンコンシャス・バイアスに気付き、固定的な性別役割分担意識を解消していくことが、多様性を認め合う男女共同参画社会の実現への第一歩になります。

※令和3年度性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究(内閣府男女共同参画局)



よしかわパートナーシップアクション(第4次吉川市男女共同参画基本計画)

令和4年度から10年間を計画期間とする吉川市男女共同参画基本計画を策定しました。「ジェンダー平等の意識づくり」や「誰もが活躍できる社会づくり」など、この計画に掲げた施策を着実に実行しながら、市における男女共同参画社会を推進していきます。

男女共同参画週間

内閣府男女共同参画推進本部では、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。市では、この週間に合わせて「多様な視点×減災対策」をテーマに、男女共同参画の視点で考える減災対策について紹介したパネルを展示します。

期間・場所：6月23日(日)～29日(金)・おあしすエントランス